

## 第5学年 国語科学習指導案

児童 5年2組 男20名 女20名  
指導者 荒木 田 早 月

# 作品の心を交流し、オリジナルアンソロジーを完成しよう

中心学習材 「みんなを好きに 金子みすゞ物語」(JURA出版局)

補助学習材 「金子みすゞ童話詩集 『あした』」(教育出版)「みすゞさがしの旅」(教育出版5年下) 他

### <育てたい主となる能力>

◎本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。  
(読オ)

### <主となる言語活動>

◎作品の心について交流し、深めた自分の考えを生かしてオリジナルアンソロジーを完成する。

## 1 子どもと単元について

### (1) 学習者観

子どもたちは、「読むこと」の学習として、「新しい友達」で、登場人物の心情の変化を叙述に即して読み取り、自分なりの感想をもつ学習を行った。また、「サクラソウとトラマルハナバチ」の学習では、文末表現や接続語、文章構成に着目しながら要旨をまとめ、筆者の考えを基に自分の考えをもつという学習を行った。このような学習や活動を通して、キーワードや文末表現、文章構成を手がかりにしながら筆者の主張を自分なりに読み取ることができるようになってきている。また、6月に行った「千年の釘にいどむ」の学習では、初めてのノンフィクションの学習であったが、登場人物の視点で話が進められていることや読者の興味を引くような表現、慣用句が効果的に用いられているなどの文章表現上の工夫を手がかりにして、登場人物の生き方や考え方を読み取ることができた。また、「人の生き方」について書かれたドキュメンタリーや伝記を読み、信念に従い、目的をもって生き抜くという強い意志をもった人間の生き方を紹介する人物紹介事典を作るという言語活動を行うことで、ものの見方や考え方を広げたり深めたりするだけではなく、読書の幅を広げることにもつなげることができた。「人物紹介事典」を作るという言語活動を通し、子どもたちは人物を紹介するために必要な要素を知ったり、人物を紹介するための言葉のリストを活用したりすることで人物を紹介するための表現を理解し、自分の語彙を増やすことにつなげることができたと考える。

詩の学習としては、「未確認飛行物体」で詩の表現を味わい、作者の物の見方、感じ方について考え感想をもつ学習を行っている。また、毎月の学年の詩の音読や全校で取り組んでいる金子みすゞの詩の暗唱を行うことにも意欲的に取り組んでいる。

子どもたちは読書を好み、週に2回の朝読書だけではなく、時間を見つけては図書室に足を運び、日常的に読書に取り組んでいる。また、月ごとに読書の目標冊数を設定することで目標を目指して意欲的に読書に取り組む姿が見られる。

### (2) 学習材観

中心学習材「みんなを好きに 金子みすゞ物語」は、金子みすゞの生い立ちや出来事、みすゞに関するエピソードなどを基にして生き方や考え方、主な作品などを紹介しており、伝記から金子みすゞのものの見方、考え方、受けとめ方を読み取ることができる。そして、読み取ったことを理解し、それらを背景として、金子みすゞの複数の作品を読むことで、金子みすゞの作品そのものも持っている、「作品の心」(作品が最も強く語りかけてきたこと)を見付け、それを交流することにより、全ての生命を尊重する心と深く優しいまなざしについて感じ取ることができると考える。さらに、補助学習材などの多くの作品を通して豊かな読書習慣を身に付けると共に、複数の作品を比べて読むことによって、作品ごとの様々な共通点や相違点を発見する喜びを知り、多くの本や文章などを読むことの意義や楽しさを実感し、豊かな読書習慣を身に付けることができると考える。

### (3) 学習指導観

指導に当たっては、以下の点に留意していく。

第1次では、金子みすゞの作品についてブックトークを行い、「大漁」という詩の二連の最初の行までを提示し、続きを考えさせることをきっかけにし、金子みすゞのものの考え方に対する関心を高める。同時に多くの作品を読みたいという意欲を喚起させ、読み進めた中から作品を集めてオリジナルアンソロジーを完成させるという単元のゴールを明確にして学習計画を立てる。

第2次では、伝記「みんなを好きに 金子みすゞ物語」を年譜に沿って、生い立ち・時代背景と出来事・金子みすゞに関するエピソードの視点に沿って読み取り、生き方や考え方を知る。

第3次では、補助学習材を中心に並行読書で読み進めていた金子みすゞの作品の中からいくつかのお気に入りの作品を選び、伝記から読み取った金子みすゞのものの見方や考え方、受けとめ方を土台として、選んだ作品に共通する「作品の心」(作品が最も強く語りかけてきたこと)を交流する。交流することで、一人一人の作品の感じ方、読み取り方の共通点、相違点に気づき、自らの読み取り方を広げたり深めたりすることができると思う。

第4次では、交流することで広がったり深まったりした自分の考えを、オリジナルアンソロジーの題名やお薦めの言葉などに生かして完成させる。

#### 《読書との関連》

本単元では、読書との関連を以下のように図っていく。

単元の学習に入る前に、ボランティアによるお話会で今月の詩などを中心に、詩の紹介をしていただき、詩の学習について興味や関心をもたせるようにする。単元導入時には、金子みすゞの「大漁」の詩の二連目の途中から続きを考えることにより、金子みすゞの詩への読書意欲を喚起できるようにする。また、一人一人が同じ詩集を持つことを知らせ、全員が全てのページの詩を読み、共通の環境で学習を進めることができるようにする。

#### 【ブックトラックに用意した本】

番号	書名	出版社
1	金子みすゞ童謡全集① 美しい町 上	J U L A 出版局
2	金子みすゞ童謡全集② 美しい町 下	J U L A 出版局
3	金子みすゞ童謡全集③ 空のかあさま 上	J U L A 出版局
4	金子みすゞ童謡全集④ 空のかあさま 下	J U L A 出版局
5	金子みすゞ童謡全集⑤ さみしい王女 上	J U L A 出版局
6	金子みすゞ童謡全集⑥ さみしい王女 下	J U L A 出版局
7	金子みすゞ童謡集 わたしと小鳥とすずと	J U L A 出版局
8	金子みすゞ童謡集 明るいほうへ	J U L A 出版局
9	金子みすゞ童謡集 このみちをゆこうよ	J U L A 出版局
10	声に出して読もう 金子みすゞの童謡	廣済堂
11	金子みすゞ童話詩集 「あした」	教育出版

#### (4)教科等の学習や日常生活への活用例

- ・同一作者の詩をまとめて詩集にする活動 (国語)
- ・作者の生きた時代、生涯や業績、作品について調べる。(総合的な学習の時間)
- ・作者の生きた時代背景を調べまとめる。(社会)

## 2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎同一作者の作品を進んで読み、作者のものの見方や考え方、受けとめ方をとらえようとする。	・同一作者の作品を進んで比べて読み、作者のものの見方や考え方、受けとめ方をとらえようとしている。
読む能力	◎作者の生き方を知り、作者のものの見方、考え方、受けとめ方を土台として作品の心を交流する活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりできる。(読オ) ○複数の同一作者の作品を比べて読み、作品の心をとらえてまとめている。(読イ)	・作者の生き方を知り、作者のものの見方、考え方、受け止め方などを基にして作品の心を見付けて交流し、考えを広げたり深めたりしている。 ・同一作者の作品を比べて読み、作品の心について交流したことを生かして、推薦書にまとめている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○文章の中での語句と語句の関係を理解することができる。(イ(オ))	・語句と語句の関係を理解し、文章の内容を的確に理解している。

3 学習指導計画（全9時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

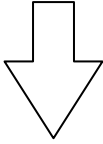
第1次  
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。（1時間）

①・「大漁」の詩の一部を提示し、二連の続きを考えた後、金子みすゞについてのブックトークを聞き、作者について興味をもち、これからの学習の見通しをもつ。

<評価>

①「大漁」の詩の二連の続きを考えた後、金子みすゞについて関心をもち、金子みすゞの作品を多読することで、お気に入りの詩を集めた「オリジナルアンソロジー」を完成させるというゴールを意識して学習の見通しをもっている。

《ノート・発言》



第2次  
伝記から金子みすゞのものの見方や考え方、受け止め方を読み取る。（3時間）

②③④

伝記「みんなを好きに 金子みすゞ物語」の年譜を基に、生い立ち、時代背景と出来事、みすゞに関するエピソードという三つの視点に沿って読み、金子みすゞのものの見方や考え方、受け止め方を知る。

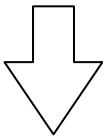
<評価>

②③④

金子みすゞの年譜をに沿って生い立ち、時代背景と出来事、エピソードの三つの視点に沿って読むことで、ものの見方や考え方、受け止め方を読み取っている。

《発言・ノート》

「千年の釘にいどむ」の学習の人物を紹介するために必要な要素を生かして伝記から生き方や考え方を読み取る。



第3次  
金子みすゞの「作品の心」を交流し、自分の考えを広げたり深めたりする。（2時間）

⑤ 金子みすゞの作品を読み進め、気に入った作品を見付ける。

⑥ 気に入った作品の「作品の心」を交流し、自分の考えを広げたり深めたりする。（本時）

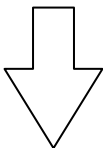
<評価>

⑤ 前時までの学習や読み進めている作品を通して、オリジナルアンソロジーに入れたい作品を選んでいる。《ブックリスト》

⑥ 伝記から読み取った金子みすゞのものの見方や考え方、受け止め方を土台として、「作品の心」について交流し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりしている。

《ノート・交流の様子》

前單元までの学習で学んだ交流の仕方の知識・技能を活用して、作品の心について交流する。



第4次  
交流したことを生かして、オリジナルアンソロジーを完成させる。（3時間）

⑦⑧交流したことを生かして、金子みすゞのオリジナルアンソロジーを完成させる。

⑨ 単元の学習を振り返る。

<評価>

⑦⑧選んだ作品の「作品の心」について、交流し合うことで広がったり深まったりした自分の考えをオリジナルアンソロジーの題名やお薦めの言葉等に生かしている。

《オリジナルアンソロジー》

⑨ 単元を通して学んだことや身に付けた力について振り返り、自分の成長を実感している。

《ノート》

第3次で交流した作品の心について、広がったり深まったりした思いを生かして、オリジナルアンソロジーを完成する。

#### 4 本時の指導

##### (1) ねらい

気に入った作品の「作品の心」を交流し、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

##### (2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

- 前単元までの学習では、「出来事」「言葉」「生き方」「考え方」「すばらしさ」を視点として、はじめにペアで「自分の考え→共通点・相違点→それについての意見」という形式で自分がとらえた人物像についてし、その後全体で互いの考えを交流し合うことで、登場人物の人物像についての見方や考え方を深めたり広げたりする活動を行った。そこでこれまでに学んだ交流の仕方の知識・技能を活用して、金子みすゞの作品の心について自分なりの考えを交流する。

##### (3) 展開

段階	学習活動・学習内容	機	指導上の留意点
つかむ	<p>1 本時の学習課題を確認する。 (1分)</p> <p>選んだ作品の「作品の心」を交流しよう。</p>	全	<p>○自分が気に入って選んだ作品の「作品の心」を考え、それを交流することで自分の考えを広げたり深めたりすることを確認する。</p>
作品の共通点から分かる作品の心を交流して考えを広げたり	<p>2 学習課題を解決する。 (1) 選んだ作品に共通する「作品の心」について考える。 (10分)</p> <p>選んだ作品名、共通点、そこから分かる作品の心を3段落構成で書く。</p> <p>(2) 作品の心について交流する。 (15分)</p> <p>・作品名は～です。 ・共通点は～です。 ・これらのことから分かる作品の心は～。 ・～さんの作品の心に似ていて～。 ・～さんの作品の心と違って～です。</p> <p>(3) 出された作品の心について考えたことを交流する。 (7分)</p> <p>・共通点は～だと思います。 ・相違点は～だと思います。 ・みんなの考えを聞いて～ということをつけ足したいと思いました。 など</p>	<p>ペア</p> <p>全</p> <p>全</p>	<p>「自分が選んだ作品の『作品の心』を考えましょう。」</p> <p>○自分が選んだいくつかの金子みすゞの作品に共通する作品の心をとらえるために、ノートに「選んだ作品名」「共通点」「そこから分かる作品の心」を3段落構成で書くようにする。</p> <p>「自分が選んだ作品に共通する『作品の心』について発表しましょう。」</p> <p>○選んだ作品の共通点を根拠として作品の心について考えを交流し合う。ペア交流時には、互いの考えを聞き合い、共通点や相違点について交流し、そこから全体交流につなげていくようにする。</p> <p>・この活動により、考えを広げたり深めたりする技能を定着するとともに、思考力・判断力を高めたり、考えを表すことで表現力を高めたりすることにつながるものとする。ここでは、ペア交流→全体交流と進めるが、これは、どの子にもペア交流で、自分の考えを明確にして、自分の考えの発表→比較→意見という流れを体験させ、交流の力の向上を図るためである。</p> <p>「それぞれの作品の心聞いて、考えたことを交流しましょう。」</p> <p>&lt;評価&gt;</p> <p>Aそれぞれの作品の心について互いの考えを交流したことから、共通点や相違点、さらに付け足したいことや共感できる点などを見付けている。</p> <p>B交流を基にそれぞれの作品の心について考え、共通点や相違点を見付けている。</p> <p>Cへの支援</p> <p>・友だちの考えを基にして、見付けることができるように助言し、ハンドサインなどで意思表示をするようにする。</p> <p>・作品の心について書かれた板書から大切な言葉を見付けることができるように手助けをする。</p> <p style="text-align: right;">&lt;ノート・交流の様子&gt;</p>

<p>深めたりする</p>		<p>○自分の見付けた作品の心との共通点や相違点，共感できる考えや新たに付け足したい考えなどを交流することによって，自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>○伝記から読み取った作者のものの見方や考え方，受けとめ方が「作品の心」に表れていることを確認できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この世に存在するものすべて（小さいもの・力の弱いもの・名もないもの・いらなれているもの・地球という美しい星）を心から大切だと考え，すべてに深いまなざしを捧げる生き方。</li> <li>・すべてを大好きになりたいという考え。</li> <li>・地球全体を包み込み，お母さんのようにみんなに暖かいまなざしを向け，一人一人が，みんなそれぞれに輝いていて素晴らしいという考え。</li> </ul>
<p>まとめる</p>	<p>5 学習を振り返る。</p> <p>(1) 自己評価する。(4分)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作品の心について</li> <li>・新たに付け足したいと思うことについて</li> </ul> </div> <p>(2) 振り返りを交流する。(2分)</p> <p>(3) 矢崎節夫氏から直接金子みすゞについての話を聞く。(5分)</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。(1分)</p>	<p>「今日の学習を振り返りましょう。」</p> <p>○本時の学習を通して，作品の心について自分の考えが広がり深まったりしたことを記述させる。</p> <p>○自分の考えの深まりが実感できているような学習感想を発表させる。</p> <p>「今日のサプライズです。『金子みすゞ物語』の筆者に登場していただきましょう。」</p> <p>○筆者に登場していただき，金子みすゞについて直接話していただくことで，より思いを深めることができるようにする。</p> <p>○本時の学習を基に，オリジナルアンソロジーを作っていくことを確認する。</p>